

残りの者

シリーズ～預言者の声～

2022/7/10

預言者イザヤの時代

- ウジヤ王時代の繁栄
 - 領土拡大・平和・経済的繁栄・軍備増強
- 繁栄がもたらした負の遺産
 - 格差社会(強者が弱者を食い物にする)
 - 知的傲慢(主の教えを軽視する)
 - 政治の腐敗(善悪がねじ曲げられ、賄賂が横行)
 - 神殿礼拝の形骸化
 - 安息日や祭りの無意味化

神の義が軽視され、神への畏れが失われた

イザヤ書1章23～28節

支配者らは無慈悲で、盗人の仲間となり／皆、賄賂を喜び、贈り物を強要する。孤児の権利は守られず／やもめの訴えは取り上げられない。それゆえ、主なる万軍の神／イスラエルの力ある方は言われる。災いだ／わたしは逆らう者を必ず罰し／敵対する者に報復する。**わたしは手を翻し／灰汁をもってお前の滓を溶かし／不純なものをことごとく取り去る。**また、裁きを行う者を初めのときのように／参議を最初のようにする。その後、お前は正義の都／忠実な町と呼ばれるであろう。シオンは裁きをとおして贖われ／悔い改める者は恵みの御業によって贖われる。背く者と罪人は共に打ち砕かれ／主を捨てる者は断たれる。

不純物を取り除くための裁き

- 正義の神である主は悪を裁かれる
 - 「それゆえ、主なる万軍の神／イスラエルの力ある方は言われる。災いだ／わたしは逆らう者を必ず罰し／敵対する者に報復する。」
- 主の裁きは単なる懲罰ではない
 - 「わたしは手を翻し／灰汁をもってお前の滓を溶かし／不純なものをことごとく取り去る。また、裁きを行う者を初めのときのように／参議を最初のときのようにする。」
 - 歪みや汚れを取り去り、本来の正しさを取り戻させるための教育である！

ユダに下される裁きとは

- ヒゼキヤ王の時代、アッシリアに攻め込まれるが
 - 「それゆえ／主はアッシリアの王についてこう言われる。彼がこの都に入城することはない。またそこに矢を射ることも／盾を持って向かって来ることも／都に対して土塁を築くこともない。彼は来た道を引き返し／この都に入城することはない、と主は言われる。」
37:33-34
- バビロンに滅ぼされる
 - そこでイザヤはヒゼキヤに言った。「万軍の主の言葉を聞きなさい。王宮にあるもの、あなたの先祖が今まで蓄えてきたものが、ことごとくバビロンに運び去られ、何も残らなくなる日が来る、と主は言われる。あなたから生まれた息子の中には、バビロン王の宮殿に連れて行かれ、宦官にされる者もある。」39:5-7

ユダに下される裁きとは

- ヒゼキヤ王の時代、アッシリアに攻め込まれるが
 - 「それゆえ／主はアッシリアの王についてこう言われる。彼がこの都に入城することはない。またそこに矢を射ることも／盾を持って向かって来ることも／都に対して土塁を築くこともない。彼は来た道を引き返し／この都に入城することはない、と主は言われる。」
37:33-34

バビロン捕囚

- バビロンに滅ぼされる
 - そこでイザヤはヒゼキヤに言った。「万軍の主の言葉を聞きなさい。王宮にあるもの、あなたの先祖が今まで蓄えてきたものが、ことごとくバビロンに運び去られ、何も残らなくなる日が来る、と主は言われる。あなたから生まれた息子の中には、バビロン王の宮殿に連れて行かれ、宦官にされる者もある。」39:5-7

「残りの者」

その日には、イスラエルの**残りの者**とヤコブの家の逃れた者とは、再び自分たちを撃った敵に頼ることなく、イスラエルの聖なる方、主に真実をもって頼る。**残りの者**が帰って来る。ヤコブの**残りの者**が、力ある神に。あなたの民イスラエルが海の砂のようであっても、そのうちの**残りの者**だけが帰って来る。滅びは定められ、正義がみなぎる。万軍の主なる神が、定められた滅びを全世界のただ中で行われるからだ。

(10:20-23)

「残りの者」預言

• 繰り返される「残りの者」預言

- 「そしてシオンの残りの者、エルサレムの残された者は、聖なる者と呼ばれる。」4:3
- 「なお、そこに十分の一が残るが／それも焼き尽くされる。切り倒されたテレビンの木、櫟の木のように。しかし、それでも切り株が残る。その切り株とは聖なる種子である。」6:13
- 「わたしに聞け、ヤコブの家よ／イスラエルの家の残りの者よ、共に。あなたたちは生まれた時から負われ／胎を出た時から担われてきた。」46:3

• イザヤが自分の息子に付けた名前は

- 「主はイザヤに言われた。『あなたは息子のシェアル・ヤシュブと共に出て行って…』」7:3
- 「残りの者が帰ってくる」という意味！

パウロによる引用と解説

神はその怒りを示し、その力を知らせようとしておられたが、怒りの器として滅びることになっていた者たちを寛大な心で耐え忍ばれたとすれば、それも、憐れみの器として栄光を与えようと準備しておられた者たちに、御自分の豊かな栄光をお示しになるためであったとすれば、どうでしょう。…また、イザヤはイスラエルについて、叫んでいます。「たとえイスラエルの子らの数が海辺の砂のようであっても、残りの者が救われる。主は地上において完全に、しかも速やかに、言われたことを行われる。」

(ローマ9:22-23,27-28)

「残りの者」とは

- 主なる神の寛大さと憐れみの象徴である
 - 「怒りの器として滅びることになっていた者たちを寛大な心で耐え忍ばれた」「憐れみの器として栄光を与えようと準備しておられた者たち」
- 「残りの者」から起こった本当の救い
 - バビロン捕囚からの帰還民たち（残りの者）の子孫からキリストが誕生した
- 私たちこそ「残りの者」である！
 - 「しかし、わたしたちがまだ罪人であったとき、キリストがわたしたちのために死んでくださったことにより、神はわたしたちに対する愛を示されました。」ローマ5:8